

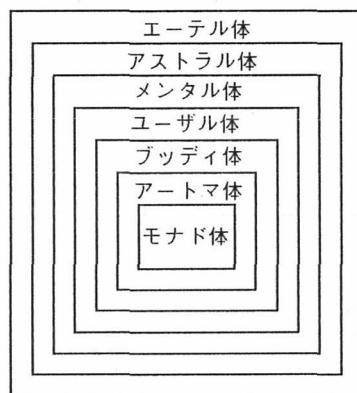
続「氣」養生法 1992年 エフエー出版

宮崎 雅敬 (みやざき がけい)

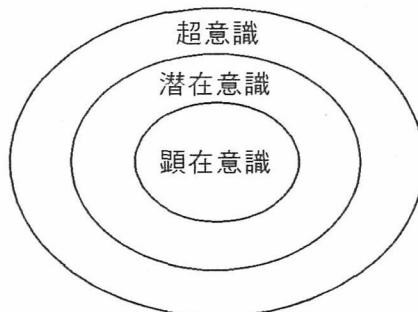
名城大学薬学部卒、香港中国医薬学院卒後、中医師の称号を得る。

(株)十字の漢方代表取締役社長、東洋医学、オーリングテスト、フーチの実践者として活躍中。

人間の構造は図のようになっている。エーテル体は肉体と他の次元のボディをつなぐ存在であり、気のボディであると言える。アストラル体は幽体のことであり、アストラル次元(幽界)のボディとなる。ユーザル体・ブッディ体・アートマ体・モナド体は魂であり、プルシャ次元(神界)の存在であり、この段階ではもうボディを持っていない。このプルシャ次元の部分が人間の本質であり、本質生命体と呼ばれるものである。この部分は、この宇宙の創造主にもつながっており、宇宙の全ての情報の源である超意識またはアカシックレコードと呼ばれるものとつながっている。



人間の意識は3つの部分に分けられる。中心が顕在意識であり、現実の世界の中で人が認識できる部分です。顕在意識は、私たちの意識を最も大きく支配しているようですが、人間の意識のはんの一部分に過ぎないと最近分かってきた。顕在意識の外側に潜在意識があり、過去の経験や情報などの記憶の大半がここに蓄積されている。この外側に超意識と言われる領域があり、高次元の自己または魂といわれる部分でもあり、私たちの人間の本質がそこにある。



健康とは「心」「気」「血」「動」の四つの要素が揃って、はじめて健康といえる。心の状態が怒り、悲しみ、恐れ、嫉妬、苛立ち、くよくよなどによってマイナスな感情を持つと、まず気の流れが悪くなる。また、場合によっては気の流れるスピードが急に速くなったり遅くなったりしてくる場合もある。いずれにしても体のあちこちで気の「うっ結」が起こり、そのうっ結した部分にマイナスエネルギー(邪気、人のマイナス的な思い、靈的な憑依など)を引き寄せる。こうなってくると感情が戻っても気の流れはなかなか元に戻らなくなる。そういう状態が続くと、血液の流れもやがて悪くなり、あちこちに老廃物が溜まり、うっ結が起こり、それはやがて様々な炎症となって、ひいては肉体的な病気へとなってゆくし、精神的な病気にもなる。

従って、健康を維持するためには、

1. 自分の心のマイナス的な思いを少なくする。
2. 他人が自分に対する憎しみ、嫉妬などのマイナスエネルギーを発生しないようにする。
3. 食事に気をつける。(食べ過ぎない、酸性食品を取り過ぎない。)
4. 水分を取り過ぎない。また、胃を冷やさない。
5. 運動とセックスをし過ぎない。

が重要である。